

# 委員長所信

委員会名 : 郷土活性化委員会

役職 : 委員長

氏名 : 木村 譲二

---

この度、一般社団法人東海青年会議所 2022 年度郷土活性化委員会委員長という大役を仰せつかり、その責務の重さを感じるとともに、身の引き締まる思いです。

新型コロナウイルスのパンデミックが始まり、早 2 年が経つ中、人々が普段の生活を変える事を余儀なくされてきました。事業を開催するにも、ウィズコロナやアフターコロナの名の下に感染拡大防止を最優先に考えた行事や祭典の開催に向け試行錯誤を重ねています。

本年度、郷土活性化委員会は、国がワクチン接種の促進化を促す中で、まちの産業に意識を向け、新しい活性化の形を模索する地域や人々にとっての学びとなるべく活動していき、郷土発展の向上を東海市の新たな活性化とするべく考え実行して参ります。

その上で、コミュニケーションはオンラインよりも、パンデミック以前の普段の直接対話直接対談の方が良いと考えます。郷土活性化委員会では、まちで自粛されている事業・祭典等を行えるよう率先して感染拡大防止を意識していきながら青年会議所会員としての利点を有効活用していき、まちの活性化に繋がるまちおこしの発掘、実行に努めて参ります。我々青年会議所は国や都市、まちの代表者になり替わるべく、このパンデミックの中でも一番槍の如く、事業祭典の平常開催を行えるように模索していき、未来永劫まちの人々の活気ある笑顔、声を大切にしていきます。

そしてこのような事業を行っていくには LOM のメンバーの協力が必要になります。東海青年会議所が今後も事業を開催し続けるにはメンバーの拡大は必須となってきますので、郷土活性化委員会メンバーの力を合わせて、拡大に努めます。

結びとはなりますが、上村卓也副理事長のご指導の下、山本美希副委員長ならびに、永井達也副委員長をはじめとする委員会メンバーには、一人ひとりの役割を明確にする事で、メンバー個々が主役であるという認識を与え、活動に乗じて絆をより強固なものにしていき、その上、役割を通じてお互いに成長し、青年経済人として生き生きとした委員会運営を目指し、青年会議所活動を精一杯盛り上げてまいりたい所存であります。

未熟者ですが、皆様、1 年間どうぞよろしくお願い致します。